



2012年12月期は売上高、利益ともに過去最高値を更新いたしました。長期ビジョン「VISION 2020」に基づき、次なる成長に向けた取り組みを加速してまいります。

代表取締役 社長

池田育嗣

3期連続で増収増益を達成

2012年12月期の当社グループを取り巻く情勢は、東日本大震災の影響で減少していた自動車生産台数が回復してきたことに加え、天然ゴムの相場価格も比較的安定して推移しましたが、国内外の需要は世界経済の減速を反映し、力強さに欠ける状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、低燃費タイヤなど高付加価値商品のさらなる拡販ならびにグループを挙げた生産性改善や経費節減など、収益力の向上を目指してさまざまな対策に取り組みました。

この結果、当社グループの連結売上高は前期比4.9%増の7,102億47百万円、連結営業利益は同29.3%増の697億23百万円、連結経常利益は同34.9%増の673億51百万円、連結当期純利益は同24.9%増の354億51百万円と増収増益を達成しました。これらの連結売上高と各利益項目の金額は、前期に続き過去最高値を更新いたしました。

2006年長期ビジョンの中間目標を達成

当社は2006年に、2015年12月期を目標年度とする住友ゴムグループ「長期ビジョン」を策定し、「世界一の現場力・

開発力・技術力」と「業界No.1の収益力」を原動力に、すべてのステークホルダーに対して「世界一の価値」を提供する企業を目指して取り組んでまいりました。長期ビジョンの策定以降、リーマンショックによる需要急落、原油や天然ゴムなど原材料の価格高騰、円高基調の継続、さらに2011年に発生した東日本大震災の影響による国内自動車生産台数の減少など、極めて厳しい経営環境が続きました。しかしながら、グループを挙げて、技術力・商品力の強化、拠点の整備と拡充、人材の育成と活性化などの取り組みを推進したことにより、中間目標である2012年度の数値目標を売上高、利益ともに達成することができました。また、2015年度の目標についても、達成の目途が立ったことから、次なる成長に向けて新たなビジョンが必要との考えのもと、2020年を最終年度とする新たな長期ビジョン「VISION 2020」を策定いたしました。

長期ビジョン「VISION 2020」の概要

「VISION 2020」の策定にあたっては、今後起こり得るさまざまな事業環境の変化を「政治」「経済」「社会」「技術」といった側面で想定し、いかなる環境においても持続的成長

が可能となる強い企業体質を構築する取り組みを織り込みました。その上で、当社グループが目指す姿を「高収益・高成長の真のグローバルプレイヤーになる」「ステークホルダーにとっての価値向上と、全社員の幸せを追求する」企業とし、その実現に向け、2006年長期ビジョンのテーマであった「世界の価値」に、「新市場への挑戦」「飽くなき技術革新」「新分野の創出」という三つの成長エンジンを「新たな挑戦」として加えました。

また、この「VISION 2020」を全社員で共有するため、新たなスローガンとして“Go for NEXT”を設定しました。このスローガンには「新たなことにチャレンジする時のワクワクする気持ち」や「次世代の社会への貢献」という意味を込めております。

数値目標としては、2020年度に売上高1兆2,000億円、営業利益率12%以上の達成を目指します。「VISION 2020」の詳細につきましては、本レポートの6～13ページをご覧ください。

年間配当金は1株当たり7円増配

当社は、株主への利益還元を最重要課題と認識し、連結ベースでの配当性向、業績の見通し、内部留保の水準等を総合的に判断しながら、長期にわたり株主の皆さまに報いるこ

とを基本方針としております。当期の期末配当金につきましては、当初予想の1株当たり13円から7円増配の20円とさせていただきます。この結果、当期の年間配当金は、中間配当金10円と合わせて前期比7円増配の30円となり、連結ベースでの配当性向は22.2%となりました。

真に価値ある企業グループを目指して

当社グループを取り巻く環境は、世界経済の不確実性の高まりや他社との競争の激化など予断を許しませんが、こうした状況に臆することなく、当社グループは、長期ビジョン「VISION 2020」に基づき、次なる成長に向けた取り組みを加速してまいります。また、環境対応商品の拡充や緑化活動の推進などを通じて持続可能な社会の実現に貢献するとともに、社会からの期待に応える真に価値ある企業グループを目指してまい進してまいります。

今後とも、当社グループへのご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2006年長期ビジョンの数値目標と実績

	2006	2009	2012	2012 目標	2015 目標
売上高	5,341	5,245	7,102	7,000	8,000
営業利益	368	287	697	620	
営業利益率	6.9%	5.5%	9.8%	8.9%	10%以上
経常利益	389	200	674	560	
経常利益率	7.3%	3.8%	9.5%	8.0%	10%以上
当期純利益	276	91	355	280	
当期純利益率	5.2%	1.7%	5.0%	4.0%	5%以上
ROE	14.7%	4.9%	16.0%	13.0%	15%以上
ROA(営業利益ベース)	6.3%	4.6%	9.9%	9.0%	10%以上
有利子負債残高	2,194	2,616	2,759	2,600	2,000
自己資本比率	33.3%	30.5%	33.1%	35.0%	40.0%
デット・エクイティ・レシオ	1.1倍	1.4倍	1.1倍	1.1倍	0.7倍

1株当たり配当金および連結配当性向

